

よっ葉だより

2020 年
12月21 日号
No.634

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860
群馬県 861
茨城県 862

2021年6月4週
まで延長になり
ました。

多くの声をありがとうございます 組合員の声がよっ葉生協をつくっています



今年も、多くの組合員さんから共同購入注文書や、メール、お手紙などで、ご意見やご感想などが届きました。ありがとうございます。これからも、できる限りよっ葉だよりで取り上げてご紹介します。

何と何と、ふれあいまつり特別号のプレゼントで1等が当たりました。クジ運は悪い方なのでビックリしました。家でおこもり生活が続くなか、おいしいお米とうなぎでドキドキワクワク。暗い生活が続くなかで、何ということでしょう。年の終わり近くになって運が舞い込みました。ありがとうございます。(これで私の一生の運は使い切っちゃったかも...?) (土生地区 J・Tさん)

10月度のふれあいまつり特別号のプレゼント企画で、3等のよっ葉のこだわりギフトをいただきました。どれもこだわりの一品で、無添加好きの我が家には嬉しい一品でした。ありがとうございます。それと、おせち号のかぶら寿司、大好きなので嬉しいです。今年は金沢に行けないのが、かりしていたところでした。来年もよろしくお願ひ致します。

(小山地区 M・Hさん)

コロナ禍で、大人2人がデスクワークになり、毎日昼食3人分を作ります。でも、よっ葉生協さんのおかげで短時間でおいしくできる料理がいろいろあり、本当にありがたいと思っています。よっ葉の皆様ありがとうございます。(小山地区 S・Nさん)

大泉地区 中山祥子さん

コロナウイルスでたいへんだけれどがんばってください！

(小山地区 速水さん)



よっ葉だより11月23日号(Nr.630)の、印金智也氏の講演の記事、興味深く読ませて頂きました。

種子法、種苗法の話は難しい印象がありますが、いつもよっ葉だよりで分かりやすく書かれているのでありがたいです。

今回の記事で、種苗法改正は避けられないという印金氏の見解に驚きましたが、それでもできることがあるということが分かり、希望が持てました。特に、学校給食の有機化が鍵になる、というお話は大変参考になりました。これからも、市民へ有益な情報を伝えて頂けると嬉しいです。(小山地区 M・Tさん)

いつも配達ありがとうございます!! 毎週必ず届く安心感は気持ちの負担を大きく減らしてくれます。感謝しています。(館林地区 S・Mさん)

よっ葉のインスタ、いつも見えています! なかなかイベント行けてませんが、情報楽しみにしています!

新型コロナウイルス感染拡大中です!
マスク着用のご協力をお願いします

★対面で商品を受け取るときは

お互いのため、マスクの着用をお願いします。

★よっ葉生協では『置き配』をすすめています。

配送担当者とは対面せずに商品を受け取ることができます。

ご希望の方は、よっ葉生協へお知らせください。

<よっ葉生協 理事会>



日本の種子（たね）を守る会アドバイザー 印鑰智哉氏
かみのかわ有機農業推進協議会「市民講座」第3回 11月25日開催

『「ゲノム編集」って何？それは安全なの？』 を聞いて

「ゲノム」とは、Gene（遺伝子） chromosome（染色体）を合わせた造語です。

2015 年、遺伝子組み換え作物の耕作面積が減少しました。それはアメリカ等で、多くの人々の反対を受けた Non GMO プロジェクト（遺伝子組み換え食品反対運動）が広がっているためです。また遺伝子組み換え作物は、除草剤、殺虫剤が効かない薬剤耐性がつき、技術的ないきづまりによる生産の限界にきていました。技術の確立の高さと簡便性を重視し、新たにゲノム編集が登場したというわけです。

「ゲノム編集」技術は、編集という言葉からの想像とは異なり、実際には遺伝子組み換えと同じ技術を使い、遺伝子操作をする技術です。専門家によっては、「センサー付き手りゅう弾による遺伝子破壊技術」と言います。この表現が一番ふさわしいそうです。

実際に、遺伝子の構造自体はとてもシンプルな形状の繰り返しであるため、「ゲノム編集」では狙った遺伝子ではない遺伝子を破壊する恐れもあるそうです。また狙った遺伝子を破壊できたとしても、その破壊した遺伝子が、その生物自身にどんな影響をもたらす遺伝子なのかについては、わからない事も多いそうです。

大切な遺伝情報を壊された生物は、二度と同じ遺伝子を作ることはできません。遺伝子は先祖代々継承してきたものだからです。

ゲノム編集のよくある誤解

- ① 「ゲノム編集」は正確に遺伝子を編集できる技術
➡No. 爆弾を投げこむようなものなので正確性はない。
- ② 「ゲノム編集」は特定の遺伝子をスイッチオンにしたりオフにしたりすることができる技術
➡No. 破壊された遺伝子を元に戻すことは不可能。破壊するのでOn/Offは当然できない。壊された遺伝子は欠損したままになるのか、他の遺伝子に部分的に置き換えられるかは未知で分からない。

ゲノム編集された食品例

- *バランスを失わせて性質を変える
- ① 収穫量の多い稲、小麦（成長抑制遺伝子を破壊）
 - ② 一部の栄養が強化された品種（GABAの多いトマト、高繊維小麦）
 - ③ 肉厚マダイ（筋肉細胞の成長抑制遺伝子を破壊）

*特定のたんぱく質を作れなくする

- ④ 芽から毒素を取り除いたジャガイモ
 - ⑤ 変色しない白いマッシュルーム（変色させる遺伝子を破壊）
 - ⑥ 菌病耐性品種のお米、小麦を開発中
- 例）大腸菌由来の抗生物質耐性菌が、日本の「ゲノム編集米」にも入っています。

つまり、「ゲノム編集」生物は機能欠損品種と言えます。

世界の「ゲノム編集」の状況は、米国は 166 品種の届け出があります。大豆からスタートし、ナタネも 2019 年に商業栽培開始。カナダ、アルゼンチンも追従しようとしています。ニュージーランド、EU では、従来の遺伝子組み換えとして規制を行うことを決定しました。

フランス政府は、2020 年 6 月までに「ゲノム編集」を含む規制法を制定予定です。

ところが、日本では 2018 年夏以降、「ゲノム編集」解禁に向け検討を開始、現在でも規制は一切なし。事実上「ゲノム編集」は解禁され、規制なしで栽培が可能。

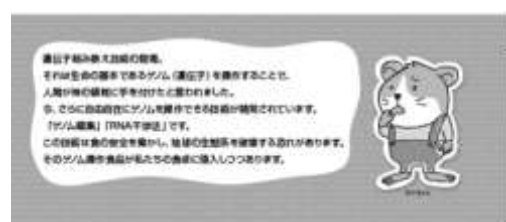
商品に表示をせずに、流通可能となってしまうています。

今回の講座では、「ゲノム編集」の基本について、理解することができました。私個人としては、遺伝子を破壊してバランスを失った生物を作り出すことが到底良いことだとは思えませんでした。

この表示のない「ゲノム編集」に対抗する手段として、在来種の保全、有機農業の推進、消費者にもわかりやすい民間認証（商品表示）など、私たちにも働きかけられる事があると学びました。よつ葉文庫の中にも、「ゲノム編集」に関する本がありますので、是非読んでみてください。

（理事 横山）

私たちはモルモット?!
ゲノム操作食品



No.1262 私たちはモルモット?!
ゲノム操作食品



No.1263

ゲノム操作・
遺伝子組み換え食品入門

よつ葉文庫は、組合員のための図書室です。

貸し出し希望の本の番号を、OCR 注文用紙などに記入してお知らせください。

なお、文庫のリストは、よつ葉生協のホームページからもご覧になれます。





よつ葉生協の組合員岡田悦子さんを講師に迎え、紅茶教室 マフィン作りの会を開催しました。

【材 料】

「プレーンマフィン」 6 個分	
卵	2 個
薄力粉	175g
砂糖	80g
バター	60g
豆乳	50g
BP	6g

「チョコマフィン」 6 個分	
卵	2 個
薄力粉	150g
ココア	20g
砂糖	70g
バター	60g
豆乳	50g
チップ	60g
BP	6g

【作り方】

1. 卵に砂糖を入れてよく混ぜる
2. 溶かしたバターをまぜる
3. 豆乳をまぜる
4. 振った粉類を空気を通すように混ぜる（チョコチックを入れる）
5. 余熱した 180℃のオーブンで、25 分焼く

ポイント

よつ葉生協の安心安全な食材を使い作るマフィンは、とてもおいしかったです。しかも思っていたよりも簡単にできました。

また、今回の教室では作らなかったのですが、バナナマフィンの作り方も教えていただきました。

＊プレーンマフィンの材料にバナナを 1 本半～ 2 本潰すまたは切って粉類を混ぜる時に入れる。

＊バナナの甘さをみて、好みで砂糖の量を 50～60g 調節する。

よつ葉生協のおいしいバナナを使ってぜひ挑戦してみたいです。

紅茶はチャイミックススパイスを使用し、チャイをいただきました。思っているよりスパイスは多めに入れて方がよりおいしく、お店の味となりました。

参加の皆さんにも楽しんでいただけたようでとても良かったです。

今回、参加の皆さんにも下準備を手伝っていただいたりしたのですが、みんなで助け合っていくところも、よつ葉生協の“おたがいさま”や“たすけあい”の心がでていてよかった気がします。ありがとうございました。



香害 110 番 DVD を観て 2 月 13 日（木）真岡委員会

「香害 110 番」の DVD 上映会を行いました。香害に苦しむ人の声、専門家の方の話など 30 分ほどの内容でした。

化学物質過敏症は一度に大量の化学物質に繰り返しさらされると発症し、頭痛・めまい・脱力・倦怠感などの症状がでるようです。いつ誰にでも起こり得る病気です。潜在患者も含め 70 万人から 100 万人もいるそうです。

今までに、子どもが学校から持ち帰ってくる給食のかっぱう着の香りがきつと感じることがありました。スーパーや、ドラッグストアなどには様々な種類の洗剤があふれ、売っていれば何の疑いもなく買ってしまいます。

香害をなくすためには、私たちがテレビCMなどに惑わされずに香り製品の使用をしない。そして、身近な人や地域に香害という空気汚染があることを知らせることが大切だと思いました。



第 7 回 定例理事会報告 12 月 9 日(水)

組合員数(11月20日現在)	加入	脱会	純増	組合員
	216 人	106 人	110 人	25,959 人

《報告・協議事項》

- (1) 茨城「子ども支援プロジェクト」、及び大学生「食の支援」について
 目的 ・給食のない冬休みに子どもたちを支援・経済的な困窮に陥り学業の継続に困難をきたしている学生支援
 食品の寄付及び寄付金の依頼がされ、よつ葉生協からはお米 30 kg×4 袋、寄付金 1 万円を送らせていただきました。引き続きフードバンク茨城でも受け付けを継続しています。
- (2) 「ふれあいまつり in くらら」報告
 10 月 1 週から 11 月 4 週まで期間、紙面上(くらら、よつ葉だより)で案内し組合員の皆様からは好評を得ました。初めての試みでしたが、紙面上で上手くふれあいまつりの雰囲気が伝えられたかと思えます。また、遠方でふれあいまつりの会場には行けないので紙面で買い物が楽しめた、抽選もあって楽しめたなどの複数のご意見もいただいております。売上げについてはコロナ禍もあり予想以上の実績となりました。

- (3) 2021 年春の全体研修会開催について
 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で春の全体研修会中止、秋の全体研修会は責任者のみで短時間開催を行った経緯から 2021 年春の全体研修会は 1 年ぶりに全体での開催を目標とした。例年は県南体育館研修室で行っており問合せた所、100 人定員であっても上限人数が 30 人とのこと。全体で行う場合は 500 人収容できる施設が必要となり現実的に無理である。秋の全体研修会同様責任者のみで開催することを取り決めました。
- (4) 「新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金」期間延長について
 現在のコロナウイルス感染拡大(第 3 波)を鑑みて、医療や貧困格差には継続した支援が必要とされる。10 月 1 週～12 月 4 週まで期間募金活動を設定しましたが、まだまだコロナの終息も見えないことも含め改めて「新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金」期間の延長について協議しました。結果、2021 年の 6 月 4 週まで募金期間の延長を取り決めました。

少し前のよつ葉だよりに、プラスチック容器の削減のことが載っていました。プラスチックに関してよつ葉生協はまだまだできることがあると思っています。例えば、今回注文している梅かつお、一度開けるともう使えなくなる容器に入っています。それならしっかりしたプラスチックを使うのではなく、もう少し簡単なものにならないかと思えます。生キクラゲもよく買いますが、いい入れ物に入っています。くだものなども傷みやすいということもあるのでしょうが、プラスチックの容器です。紙などに変えられないものかと思えます。肉もトレーに入っていますが、スーパーではトレーに入れない肉(ビニール袋に入れてあるだけ)も売っています。

もちろん、よつ葉生協が製品を作っているわけではないので、メーカーや生産者さんをお願いしなくてはならないですが、スーパーで買うものと同じような包装から、もう一歩踏み出して、脱プラスチックに進んでほしいと思っています。大変だとは思いますが、よろしく願いいたします。(下野地区 中村さん)

ご意見、ありがとうございます。脱プラスチックの取り組みは喫緊の課題と捉えています。生協で扱う商品は、製造から組合員の手元に届くまで多くの手を渡り、商品の鮮度や衛生の保持、商品保護のためにプラスチックに頼らざるを得ない現状があります。生産者や業者などの協力も不可欠です。商品の欠損にならない範囲で模索してまいります。

また理事会でも協議を続け、生協内で削減できるところから改善を図っていきます。例えば、ドライ商品で使うプラスチック袋の削減などは、今まで使っていた袋を無くしていくことなので、組合員の理解が必要です。プラスチックの削減は、生協と組合員、生産者・業者で問題意識を共有しながら取り組む必要があると考えています。(専務理事 中田)

よつ葉太陽光発電報告

○2020 年 10 月 28 日から 11 月 26 日(30 日間)の太陽光発電量は、10,865 kWh でした。CO2 削減量は 3,732kg(18L の灯油缶を 157 本燃焼した量)です。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告(12月2週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています(単位:円)

栃木コロナ支援あい基金 (860 番)	11,900
群馬コロナウイルス対策募金 (861 番)	3,800
茨城誰かのために募金 (862 番)	3,500
合 計	19,200

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。

WEB 注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。一口 100 円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告(12月2週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています(単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900 番)	7,500
震災孤児を支援する募金 (910 番)	19,300
「有機農業と国産種子」募金 (920 番)	9,800
合 計	36,600

共同購入注文書裏の「10 品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。

WEB 注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。一口 100 円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp



よつ葉生協
ホームページ



よつ葉生協
Facebook

<よつ葉だより休刊のお知らせ>

12 月 28 日・2021 年 1 月 4 日・11 日のよつ葉だよりは、お休みさせていただきます。よろしくお願い致します。

